

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

株式会社四方継の立場での貧困をなくす取り組みは、**職人の社会的地位を上げる**事です。他業種に比べて保証が十分でない、将来のキャリアアップが見え難い職人の働き方を見直し、正規雇用と教育システムをセットにして次世代を担う若手職人が育つ環境作りに努めています。

→2026年に職人による職人のための持続可能な事業の運営体制を構築し、リーダーシップチームに事業を承継します。



飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

日本では飢餓に対する問題意識は薄いですが、コロナによる輸入品のストップにより色々なものが手に入らなくなっている今、危機感も感じます。四方継では**自身で安心安全な食料を確保できる**様に地元の農家さんとタイアップして農業に取り組み、ご縁があった方にも収穫祭にお誘いして自家農園、自家栽培を始めのきっかけを提供しています。

→2026年までに、地元農家さんが作る安全で安心に食せる野菜を1万人のつない堂コミュニティユーザーに流通させる仕組みを構築します。



あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

バリアフリー住宅、温熱環境の優れた空間の設計、施工を行う事、あるいは**電磁波対策や化学物質対策**なども行って住まい手の健康に寄与しています。現在は必要でなくても将来的に必要なであろう設備や備品への準備もご提案します。

→新築住宅における長期優良住宅の標準化だけでなく、長期優良化リフォームも広く提案し、2026年には一定規模のリフォーム、リノベーションの全現場で性能向上の提案と施工を行う体制を作ります。



すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

社内研修を継続的に開催、**社外向けにも私塾を主催して広く地域の事業者**に学ぶ機会を提供しています。また、建築実務者向けには一般社団法人の研修事業を立ち上げ、研修と毎年のフォローアップで**生涯学習の場**も提供しています。

→2030年までに主体的に事業に関わる1,000人の職人を輩出します。



すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保

家庭菜園や非飲料水など外部でふんだんに水を使う場合には雨水タンクの設置を推奨し、**雨水利用の促進**を促しているよう心がけています。

→2022年には新築工事の雨水利用設備の設置を標準仕様として提案していきます。



包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する

自社職人の育成を続ける事により、**地震や台風などの天災への迅速な対応を可能**にし、地域の安全、安心な暮らしを支えています。

→会員の増加に準じて大工の採用、育成を進めることで家守りの立場を全うすると共に、2040年には建築業界で職人の正規雇用に取り組む企業1000社をサポートし、職人を育成する文化を業界に定着させます。



持続可能な生産消費形態を確保する

建築工事を担うのは現場の職人であり、創業以来職人育成に取り組んでいます。また協力業者、同業者に対しても職人の採用、育成のサポートを行う事によって**業界全体としての持続性を担保**しています。

→2026年までに一般社団法人職人起業塾への参画企業を500社、2040年には1000社に増加させます。



各国内および各国間の不平等を是正する

希望する従業員には各種研修や講習受講の機会を積極的に提供し**キャリア構築を推進**しています。また**社員の要望に応じた時短制度、リモートワーク**など、多様な働き方を実現し育児や介護に対する対応も行っています。

→自社で実践、検証したキャリア制度を広く建築業界に公開し、2040年には1000社の企業で職人のキャリアコンサルティングを定着させます。



気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

新築の建物では全棟構造計算を行い、**震災、天災に耐えられる強度を持った建物の設計・施工**を行っています。また、酷暑・厳冬でも少ないエネルギーで過ごせる高性能な家づくりを守っています。

→2026年までに新築以外のリフォーム・リノベーションでも建物性能の数値化、改善提案を全ての案件で行うようにします。



ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う

株式会社四方継では建築設計において女性目線大切にしており、設計部のメンバーは全員女性。まさに**女性が活躍する事業所**となっています。

→2026年までに複数の女性を執行役員に任命し、リーダーシップチームの大工と力を合わせて事業を行う体制を整えます。



持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

工事現場の建材や事務所での分別、リサイクルを徹底的に行うと共に、海洋汚染のもととなるプラスチック建材の使用を出来るだけ少なくしていく努力をしています。また、海洋環境保全のため、**地元産の木材を使う、植えるの循環で海の環境保全にも寄与**しています。

→地元産の木材を使い、森の循環を促進し山林を守る事が木造建築を得意とする当社の一番の取り組みです。2026年までに全案件での地元産木材活用と、使用した木材量に応じた「山への植林活動」を事業に組み入れます。



陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

地元産の木材、また、国内の木材活用、**森林の循環を促進**する事によって、地域における循環型社会への移行に寄与しています。

→2026年までに全案件での地元産木材活用と、使用した木材量に応じた「山への植林活動」を事業に組み入れます。



持続可能な開発のための実施手段を強化しグローバル・パートナーシップを活性化

つない堂では「地域サポートサービス」を通じて**地域の方々とパートナーシップを結んだ輪**を大きく広げていっています。つむぎ建築舎と、四方継本社に本店を置く官民連携の地場産木材活用の啓蒙団体「ひょうご木づかい王国学校」では屋久島共同宣言に調印し、屋久島地杉生産者有限責任事業組合の生産する商品の販売を通して**屋久島の森を守る活動**にも参画しています。国際的には、台湾で事業を行っている董董国際設計有限公司では**日本企業の台湾の事業展開をサポート**しています。

→人事育成、森林資源保全を柱に国内外で同じ志を持つ仲間を募り、2026年には10の地域と協定を結び、持続可能な循環を具体的な事業の中に組み込んでいきます。



すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

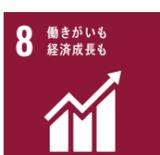
住宅の屋根に太陽光発電の搭載を推奨、また住宅の断熱性能を高めて消費エネルギーを抑え、**オフグリッド(電力網に接続されていない)な暮らしを可能にする提案**をしています。
→2021年、専用住宅で太陽光発電搭載率100%を達成、2026年までに蓄電池の採用を推し進め**オフグリッド住宅の供給を開始**します。



強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーション（新機軸）の推進を図る

自社職人の育成を続ける事により、地域顧客の住宅メンテナンスを引き受け、**地域のインフラを守り、支える企業として認められる**事でストック型ビジネスモデルの構築を図っていきます。

→つない堂会員へのメンテナンス巡回の強化で2026年までに1万人の会員の住宅インフラの安心と安全を支える存在になることを目指します。



包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する

スタッフと顧客の信頼関係構築を元にストック型ビジネスモデル(継続的に収益を上げることが出来るビジネスモデル)を作り上げてきており、顧客からの高評価、感謝される**価値のある仕事をやり遂げる事が自社の未来に直結している**という社内の共通認識を構築しています。
→信頼関係で結ばれた取引を**持続、継続出来るスキーム**として、2026年までにつない堂でのコミュニティ事業で、1万人の会員登録を目指します。



持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

つない堂では、司法に携わる専門家の方々や、色々な業種の方との橋渡しを行っています。**身近に相談できる法律の専門家を繋ぎ、地域の人々の生活の中に司法へのアクセスのハードルを取り除く**ことですべての困っている方々のお役に立ち、平和で公正な世の中を構築します。
→2022年には法律の専門家を交えた無料の相談会を定期的に行う仕組みを構築します。